# 202311KeMCo

View Report

Campaign Preview　HTML Source　Plain-Text Email　Details

View this email in your browser

Keio Museum Commons
展覧会
入口はこちら
11:00-18:00
10月2日
12月1日
臥遊

展覧会「常盤山文庫×慶應義塾　臥遊（がゆう）—時空をかける禅のまなざし」は好評開催中です。
11月14日（火）には、コレクションがつなぐ3つの組織で活動する方々にご登壇いただくシンポジウム「常盤山文庫コレクションをめぐり、美術館の裏側を語る」を開催するほか、24日（金）には担当学芸員によるギャラリートークも行います。展覧会関連イベントもどうぞよろしくお願い致します。

## KeMCoの近況

### 【開催中】常盤山文庫×慶應義塾　臥遊（がゆう）—時空をかける禅のまなざし

慶應義塾ミュージアム・コモンズは、常盤山文庫コレクションと慶應義塾の収蔵品より、禅宗の美術の展覧会を開催しています。
常盤山文庫は、1943年に実業家菅原通濟がその母体を築いたコレクションで、その一部は、慶應義塾に寄託されています。常盤山文庫の創立80周年を記念した本展では、寄託品のなかから、室町絵画の名品を中心に紹介します。併せて、慶應義塾の収蔵品より、一休や雪舟の作品を、2021年の寄贈後初めて披露します。

※臥遊（がゆう）＝寝そべりながら、山水の絵を眺めて、その世界に遊んだ気持ちになること

**常盤山文庫×慶應義塾　臥遊（がゆう）—時空をかける禅のまなざし**

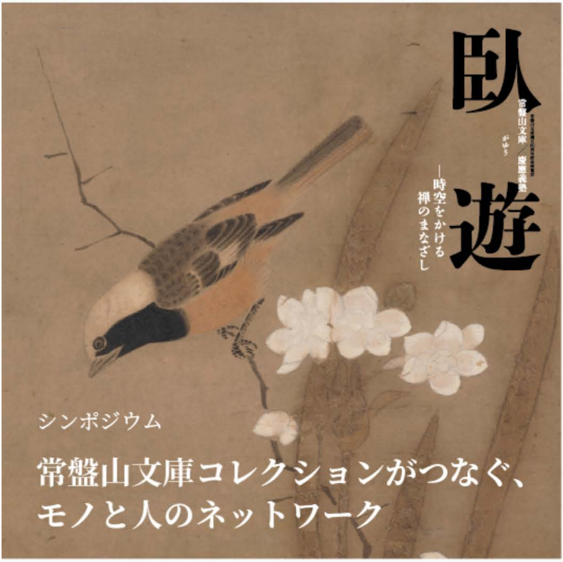
**会期｜**2023年10月2日（月）～12月1日（金）［土日祝休館］11：00～18：00
特別開館｜11月25日（土）
臨時休館｜11月20日（月）
※期間中に展示箇所の入れ替えをする作品がございます。詳細はウェブサイトでお知らせします。
**会場｜**慶應義塾ミュージアム・コモンズ展示室（三田キャンパス東別館）
**対象｜**どなたでもご覧いただけます・事前予約不要
**費用｜**無料
**主催｜**慶應義塾ミュージアム・コモンズ、公益財団法人常盤山文庫
**協力｜**慶應義塾大学附属研究所 斯道文庫

**ギャラリートーク予約受付中**

11 月 24日（金）14時～14時30分　ご予約は**こちら**

**常盤山文庫×慶應義塾　臥遊（がゆう）—時空をかける禅のまなざし**

### 【予約受付中】シンポジウム「常盤山文庫コレクションをめぐり、美術館の裏側を語る」


臥遊
常盤山文庫／慶應義塾
がゆう
—時空をかける禅のまなざし
シンポジウム
常盤山文庫コレクションがつなぐ、
モノと人のネットワーク

常盤山文庫コレクションは、現在、東京国立博物館、九州国立博物館、そして慶應義塾ミュージアム・コモンズに寄託され、活用されています。「寄託」とは耳慣れない言葉かもしれません。しかし、ミュージアムがお預かりする寄託コレクションは、収蔵品とつながりあって体系的な展示を実現したり、新たな切り口を提供するなど、ミュージアムの活動の中で非常に大きな役割を持っています。
常盤山文庫コレクションは、ポリシーを持って蒐集されたコレクションです。コレクションはひとつのきっかけで膨らんだり、枝分かれしたり、また変動をしない時期もあります。しかし、変動しない時期であっても、その存在が新たなコレクションを呼びよせる力を持ちます。
本シンポジウムでは、常盤山文庫コレクションが３つの組織で生み出している、モノと人のネットワークに着目します。それぞれのミュージアムで常盤山文庫コレクションの活用に携わる方々をお招きして、コレクションの魅力とともに、リアルなミュージアム活動の実際を語ります。

**シンポジウム「常盤山文庫コレクションがつなぐ、モノと人のネットワーク」**

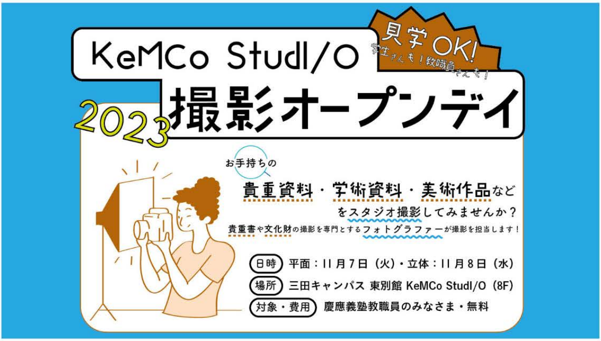
**登壇者｜**
佐藤サアラ氏（常盤山文庫主任学芸員）、畑靖紀氏（九州国立博物館主任研究員）、三笠景子氏（東京国立博物館主任研究員）、松谷芙美氏（慶應義塾ミュージアム・コモンズ専任講師）
**日時｜**2023年11月14日（火）18：00-20：30（17：30開場）
**会場｜**慶應義塾大学三田キャンパス G-lab（東館6階）
**対象｜**どなたでもご参加いただけます（無料、要事前予約）
**主催｜**慶應義塾ミュージアム・コモンズ
**協力｜**公益財団法人常盤山文庫

ご予約はPeatixからお願い致します。

**シンポジウム「常盤山文庫コレクションがつなぐ、モノと人のネットワーク」**

---

### 【教職員向け】KeMCo StudI/O 撮影オープンデイ2023


KeMCo StudI/O
見学OK!
学生さんも！教職員さんも！
2023
撮影オープンデイ
お手持ちの
貴重資料・学術資料・美術作品など
をスタジオ撮影してみませんか？
貴重書や文化財の撮影を専門とするフォトグラファーが撮影を担当します！
日時 平面：11月7日（火）・立体：11月8日（水）
場所 三田キャンパス 東別館 KeMCo StudI/O（8F）
対象・費用 慶應義塾教職員のみなさま・無料

KeMCoには、KeMCo StudI/O という撮影スタジオがあるのをご存じでしょうか？小さいながら、高解像度のデジタルカメラや照明機材、接写台などを備えたスタジオです。
昨年に続いて、スタジオの撮影リソースをシェアする新しい試みとして、「KeMCo StudI/O 撮影オープンデイ」を開催します。
撮影ご希望の受付は終了しましたが、ご見学のみも大歓迎です！この機会にぜひ、KeMCoに立ち寄ってみてください。

**KeMCo StudI/O 撮影オープンデイ2023**

**日時｜**
平面撮影Day｜カメラを真上から構えて撮影します（例：貴重書、版画など）
11月7日（火）10:00-13:00、14:00-16:00

立体撮影Day｜カメラを斜めから構えて撮影します（例：彫刻、掛け軸など）
11月8日（水）10:00-13:00、14:00-16:00
**場所｜**三田キャンパス 東別館 KeMCo StudI/O（8F）
**対象・費用｜**慶應義塾教職員のみなさま・無料
※見学のみの場合はご予約は不要です。学生の方もご覧いただけます。
※本イベントは一般の方は撮影・見学ともにご参加いただけません。予めご了承ください。

WEBサイトもご覧ください。

**KeMCo StudI/O 撮影オープンデイ2023**

---

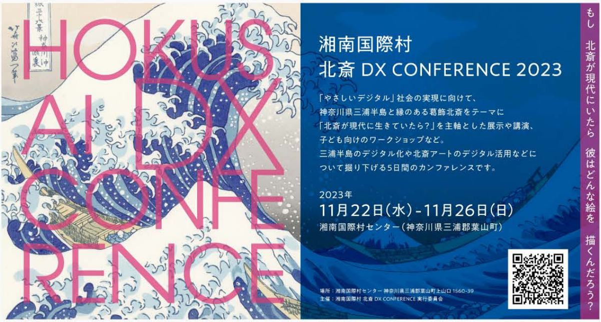
### カレントアウェアネス・ポータルにトーク・イベント「エフェメラの住み処」の開催レポートが掲載されました

図書館に関する情報ポータル「カレントアウェアネス・ポータル」に、9月16日（土）に開催されたトーク・イベント「エフェメラの住み処：ライブラリー、ミュージアム、アーカイヴ」の開催レポートが掲載されました。
以下よりぜひご覧ください。

**トーク・イベント「エフェメラの住み処」＜報告＞**

---

### 湘南国際村 北斎 DX CONFERENCE 2023にKeMCoが参加します



湘南国際村
北斎 DX CONFERENCE 2023

「やさしいデジタル」社会の実現に向けて、
神奈川県三浦半島と縁のある葛飾北斎をテーマに
「北斎が現代に生きていたら？」を主軸とした展示や講演、
子ども向けのワークショップなど。
三浦半島のデジタル化や北斎アートのデジタル活用などに
ついて掘り下げる5日間のカンファレンスです。

2023年
11月22日（水）-11月26日（日）
湘南国際村センター（神奈川県三浦郡葉山町）

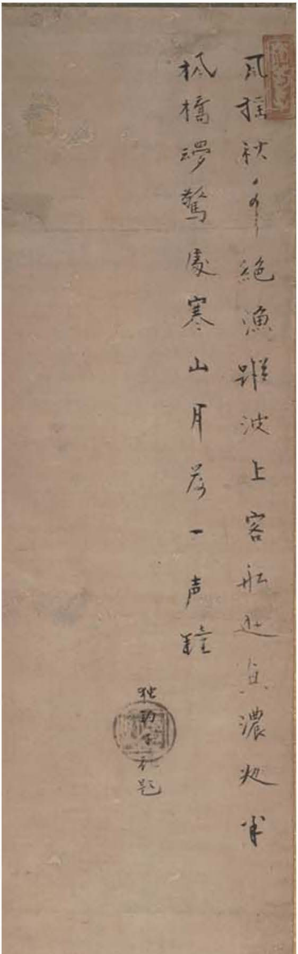
場所：湘南国際村センター 神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-39
主催：湘南国際村 北斎 DX CONFERENCE 実行委員会

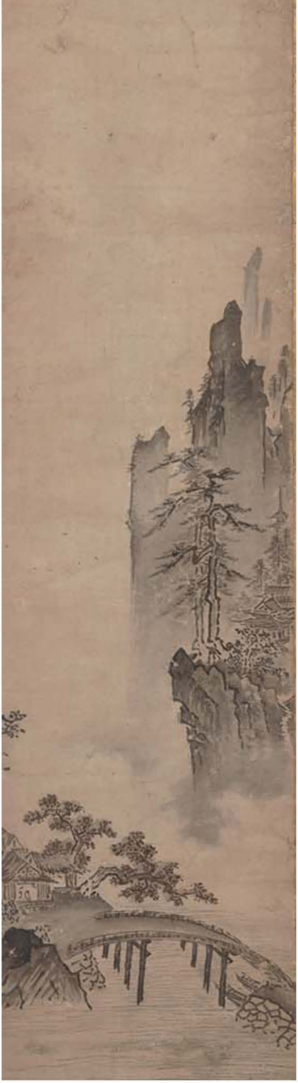
11月22日(水)～26日(日)で開催される「湘南国際村 北斎 DX CONFERENCE 2023」にKeMCoが参加します。
5～7月に開催した展覧会「『さすが！北斎、やるな！！国芳』－浮世絵のマテリアリティ」で学生スタッフが制作した「浮世絵×AI」の企画や、学内のカフェと協同した冨嶽三十六景をイメージした氷菓の提供など、展覧会に併せて実施した様々な企画について紹介します。
講演会にはご予約が必要です。詳細はウェブサイトをご覧ください。

Feedback

湘南国際村 北斎 DX CONFERENCE 2023

## 展示室より、推しモノ #22





秀盛筆、雪心等柏賛「楓橋夜泊図」、常盤山文庫所蔵（慶應義塾寄託）

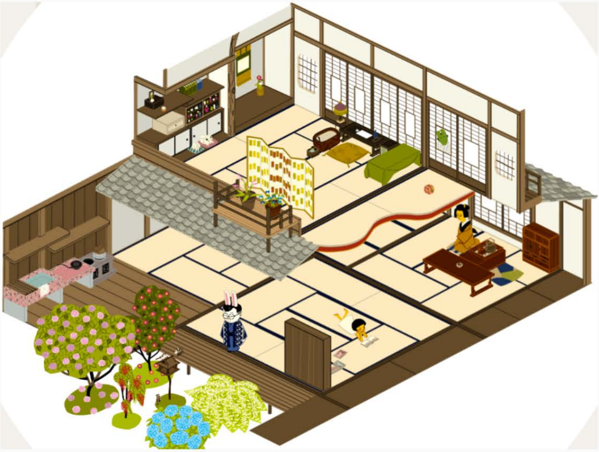
雪心等柏（1383–1459）は、張継による「楓橋夜泊」を踏まえて賛を寄せている。「楓橋夜泊」は、『三体詩』に収められ、日本の禅僧の間で、主人公の状況や心情について、想

像力豊かなさまざまな解釈がなされた。雪心の詩に、「遊興濃やかなり」とあるのは、主人公は、妓女を他の船に取られて、一晩中一人で過ごしたのではないかという往時の解釈を踏まえてのものだ。

本図を描いた秀盛は、雪心と同郷である美濃の武人画家か、あるいは雪心自身の自画賛の可能性が指摘されている。絵の中をよく見れば、画面右上には、急な山道が伸び、いくつかの建物があり、塔が見える。これは、寒山寺の塔で鐘の音はここから聞こえてくるのだろう。橋の袂には舟が泊り、対岸には赤褐色の紅葉した樹木、いくつか建物があり、屋内には人影もある。画中の時刻は夜半なのか、空は白んできているように見え、明け方に近いのかもしれない。詩と合わせて想像を働かせれば、旅人が遊興の後、静かになった船のなか、鐘の音で目が覚まし、船外の景色を眺めた際の、もの寂しさを追体験できるのではないだろうか。

松谷 芙美（KeMCo専任講師）

## 空き地



再現！番町の家 泉鏡花記念館 × Keio Exhibition RoomX

今年は泉鏡花の生誕150周年ということで、WEB展示会「再現！番町の家」や、鏡花研究の最先端を示すともいうべき図録『泉鏡花生誕一五〇年記念　鏡花の家』など、鏡花ファンをわくわくさせる企画がどんどん現れています。いずれもこの節目に相応しい、鏡花世界の新たな入り口となりそうですが、そのもう一つの「新たな入り口」となり得るのは、「慶應義塾」に外ならないのでしょう。慶應義塾図書館所蔵の遺品などから伝わる、鏡花のどことなく粋な生き方も無論そうですが、鏡花と慶應との接点は、それだけではありません。永井荷風が初代編集長を務めていた『三田文學』の最初期に、鏡花は複数回小説を掲載しています。1910年10月号に載った「三味線堀」がその最初となり、次に1911年1月号に「朱日記」を載せています。また数年後の1915年に「夕顔」、1916年に「袙奇譚」をも『三田文學』にて発表しますが、ちょうどそのころから荷風が『三田文學』を離れます。どの作品も怪奇性の濃密な内容となっています。管見にすぎませんが1910年代に入りますと、鏡花の文学の怪奇性が言わばラディカライズされ、1890年代の「観念小説」、

1900年代の崇高な幻想美とは異なる、真個不気味で怖い描写を噴き上げる作品が多くなる気がします。産声を上げたばかりの『三田文學』に発表された「三味線堀」「朱日記」「夕顔」「祐奇譚」は、当時の鏡花の創造的冒険心を物語る、鏡花世界への好個の裏口としてぜひ合わせて読みたいと思います。

ピーター・バナード（慶應義塾大学文学部 助教）

---

## お知らせ

**三田でご覧いただける展示**

2023年度秋季企画展
曾禰中條建築事務所と慶應義塾Ⅱ　昭和編
10月19日(木)〜12月16日(土)
会場｜福沢諭吉記念 慶應義塾史展示館

Artist Voice III: 駒井哲郎　線を刻み、線に遊ぶ
10月10日（火）〜2024年1月26日（金）
主催｜慶應義塾大学アート・センター
会場｜慶應義塾大学アート・スペース

---

**WEBでご覧いただける展示**

再現！番町の家 泉鏡花記念館 × Keio Exhibition RoomX
10月1日(日)〜2024年3月31日(日) **（期間限定公開）**
URL｜https://kyoka.kemco.keio.ac.jp/#/
場所｜オンラインで開催します。上記URLよりお入りください。

---

### KeMCo Voiceでは皆様のご意見・ご感想を募集しております

KeMCo Voiceやミュージアム・コモンズへご意見・ご感想がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただければ幸いです。
いただきましたご意見は匿名でご紹介させていただく場合がございます。紹介をご希望でない場合はその旨をお書き添え下さい。

> ご意見・ご感想はこちら

---

次回の*KeMCo Voice*は*2023*年*12*月に配信予定です。
過去のニュースメールはこちら

*Copyright © 2019-2023 慶應義塾ミュージアム・コモンズ　Keio Museum Commons*

〒108-8345　東京都港区三田2-15-45

Tel:　03-5427-2021　Fax:　03-5427-2022
お問い合わせ

KeMCo Voiceの配信停止をご希望の方はこちら

---

This email was sent to << Test Email Address >>
*why did I get this?*　unsubscribe from this list　update subscription preferences
慶應義塾ミュージアム・コモンズ · 2-15-45Mita · Minato-ku, Tokyo 108-8345 · Japan